
手招き

キミノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

手招き

【Zマーク】

Z6060A

【作者名】

キミノ

【あらすじ】

女性の首吊り死体を見てしまったライダー、それ以後ツーリング先で次々と・・・。

失敗

朝、目覚めると田の前に
ブラブラ揺れる女性の首吊り死体が・・・なんて夢もみなくなり
日々の生活の連續で
あの忌まわしい光景も
記憶のゴミ箱においやられたところ
それはまた・・・。
それはまた・・・。

バイクツーリング

それは

ボクの唯一の趣味。

これで体験したことを

あなただけにお話します。

いつかあなたも

同じ体験をするかもしれません。

気がつくとそこにいました。

右サイドミラーに女性の顔が写っています。

思わず後ろを確認しましたが寝袋などの荷物がのっているだけで
す。

つむいたその顔色は青白く、長い黒髪は逆立っています。

停まつてバイクを離れ、様子をみようと思いましたが戻つてもまだミラーの中にいたら、いくら愛車でも再びまたがる度胸はありません。

それにまだ日が高いとはいえ

交通量もなく携帯も圈外っぽい山中で

幽霊がミラーから抜け出してきたら・・・。

とにかく走り続けるしかないようです。

しかも

さつきからミラーの角度を変えようとするのですがスロットルから右手、今は左手も恐怖のせいか固まって動かなくなりました。

もしかして

人を驚かし事故をおこさせる靈かもしぬません。

運転に集中しようとして唐突に顔の正体がわかりました。

と同じに

ミラーの中のあのバス停の首吊り女性の顔が目をむいてキヤハハハと声をあげて笑いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6060a/>

手招き

2010年10月10日17時55分発行